

地域の医師不足による不安の解消

1. 医師不足の背景

勤務の長時間化

- 慢性疾患の増加、医療技術の高度化等による診療密度の増大
- インフォームドコンセントや医療安全対策等の業務の増加
- 業務の負担増大
- 診療以外の事務に忙殺

勤務医の過重労働

過重労働の悪循環

残った勤務医に負担が集中

勤務医の開業志向を加速

医療のパフォーマンスの低下

- 医療事故の増大
- 不十分なインフォームドコンセントによる患者満足度の低下

女性医師の増大

- 育児等によりフルタイム勤務困難

2. 医師不足問題の解消策

勤務医の労働条件悪化への対応・医療労働市場に潜在する女性医師の有効活用

○病院組織・人員管理の改善

- 高い専門性をもつ医師を有効活用するために、
- 医療の質を維持できる勤務時間にすることが必要
 - 医師が診療に専念できる環境が必要

○過重勤務の解消に向けて

- 交代制・変則制勤務の導入
- 診療・事務体制の整備

専門性の高い医師の有効活用に向け、必要な人員確保、体制整備が必要

※ 育児中の女性医師も勤務可能に。

医療安全の確保や医療紛争リスクの発生への対応

○医療安全・医療紛争への対応

- 医療安全を確保すると共に、医療訴訟等に係る負担を軽減することが必要

○医療安全・医療紛争への対応に向けて

- 診療行為に係る死因究明制度の構築等

医療リスクに対する支援体制の整備